



まくらざき市 農業委員会だより

令和元年 8 月
第41号

編集発行
枕崎市農業委員会
枕崎市千代田町27番地
☎ 0993-72-1111
内線 337・338・339



「地域の農業を語る会」を開催

平成31年2月19日、真茅公民館において真茅地区を対象として「地域の農業を語る会」を開催しました。

会には農業者、市農政課、農業委員等35名が参加し、今後の農地利用のあり方や担い手について、事前に実施したアンケート調査の結果及び農地の利用状況・農業者の年齢別構成等の情報を示した地図などを活用して話し合いがなされ、農業者からは、「当地域で安定してつくれる新規作物を紹介してほしい。」などの意見が出されました。

農業委員会では、地域の農業者等との話し合いを農地利用最適化推進のための基礎的な取組と位置づけ、今後も各地域を対象に毎年1回以上開催する予定です。



調査の様子

農業委員会では、毎年8月を農地パトロール強化月間と定め、農地の利用状況調査を実施しています。この調査は、農地法に基づき、管内のすべての農地の利用状況を調査し、遊休農地の実態把握と発生防止・解消、違反転用の発生防止等につなげるものです。

本年も8月に農業委員・推進委員が担当地域の農地の利用状況を調査します。調査の際には農地にもむなく立ち入る場合もありますので、ご理解とご協力をお願いします。

また、調査結果に基づき、遊休農地の所有者等に対して11月末までに利用意向調査を行いますので、ご協力をお願いします。

農地の利用状況調査(農地パトロール)を実施します

農業委員会では、農業者並びに農地を所有している非農家の世帯を対象に、農地の出し手や受け手の掘り起しや、今後の農地利用に対する意向調査を行っています。

農業の規模拡大を予定し、新たな農地を「借りたい」農家や、農地を所有しているが耕作する人がいないため「貸したい」方々の意向を調査することで、地域農業の中心となる担い手農家へ農地を集積し、農地の有効活用と遊休農地の発生を未然に防止することを目的に実施するものです。

農業委員・推進委員が戸別訪問によりアンケート調査に伺いますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



農地「貸したい」「借りたい」総点検活動を実施しています

農業委員・推進委員名簿

農地等に関するご相談は、お近くの農業委員・推進委員まで

任期 2020年7月まで

| No. | 氏名 | 住所 | 電話番号 | 担当地区 |
|-----|--------|---------|---------|--|
| 1 | 沖園 強 | 田布川町166 | 72-3715 | 市内全域 |
| 2 | 原田 克子 | 美山町340 | 73-2673 | 田布川・金山・界守・木口屋・道野・上竹中・奥ヶ平・金山住宅・寺田・(加世田) |
| 3 | 俵積田 広昭 | 別府東町55 | 76-2020 | 俵積田・東白沢・西白沢 |
| 4 | 眞茅 文男 | まかや町160 | 76-3425 | 真茅・山崎・下山・駒水・松崎・(知覧・川辺) |
| 5 | 鮫島 裕次 | 桜山東町907 | 78-4180 | 桜馬場・宇都・小園・松下・山口・瀬戸口・中村・籠原・下園・宝寿庵・西堀 |
| 6 | 水野 正子 | 桜山東町342 | 72-9525 | 木原・美初・岩戸・市街地 |
| 7 | 楠 義文 | 大塚南町272 | 72-2977 | 大塚・大堀・下野原・牧園・春日・田中・田畑・塩屋・火之神・(坊津) |
| 8 | 天達 範隆 | 桜山本町300 | 72-3241 | 板敷・鹿水高 |
| 9 | 中原 敬彦 | 国見町432 | 76-3571 | 中原・小塚・茅野 |
| 10 | 畑野 真人 | 木場町720 | 72-5338 | 湯穴・水流・山下・桜山住宅・岩崎・潟山・富岡・通山・木場 |
| 11 | 篠原 正 | 小塚町33 | 76-2336 | 別府上手地区 |
| 12 | 俵積田 正康 | 別府西町442 | 72-3139 | 別府下手地区 |
| 13 | 有村 貞雄 | 道野町710 | 72-8957 | 桜山・金山地区 |
| 14 | 桑原 和英 | 大塚中町808 | 72-1227 | 枕崎・立神地区 |

農地の適正な管理について

本市においては、集落内や山間部などで、耕作放棄や管理不足により雑草が繁茂し周囲に支障をきたす恐れのある農地が見受けられます。

これらの耕作放棄地は、害獣のすみかとなったり、近隣農地や住宅への雑草の種子の飛散、病害虫の発生やゴミの不法投棄など様々な問題の原因となっています。

農地はいったん荒れてしまうと、耕作可能な農地に再生するには大変な労力や費用を要しますので、作物を耕作している間だけでなく、年間を通して適正な管理に努めていただきますようお願いいたします。

なお、農地の貸し借りの契約期間満了等により、貸し手に返還する場合は、農地を原状に回復して返還してください。



パソコン農業簿記記帳研修会を開催

～パソコン簿記で青色申告をはじめましょう!～

農業経営の基礎となる簿記記帳と青色申告の普及・推進及び農業経営者の経営管理能力の向上を図るため、関係機関の協力を得て、パソコン農業簿記記帳研修会を開催します。

研修会への参加を希望される方は、農業委員会事務局へお申込みください。

- 1 開催予定日 10月16日(水)、11月12日(火)、12月3日(火)、令和2年1月21日(火)、2月5日(水)、2月25日(火)
- 2 時 間 午後1時30分～午後4時
- 3 場 所 市民会館 2階第2会議室
- 4 対 象 者 農業者
- 5 研 修 内 容 農業簿記ソフトによる記帳及び青色申告に必要な決算書の作成
- 6 持参するもの ノートパソコン(農業簿記ソフトが必要になります)、通帳、伝票など
- ◎ 問合せ・申込み 農業委員会事務局 TEL72-1111(内線338)
(農業簿記ソフトについての問合せ先：南薩地域振興局農政普及課経営普及係 TEL：52-1346)



家族経営協定を締結しましょう!

家族経営協定とは… 家族一人ひとりが対等な立場で話し合いを進め、経営の方針やそれぞれの役割、就業条件について取り決めるものです。男女の共同参画や法人経営におけるワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）実現の有効な手段となります。

協定の主な内容…… ①就業条件 ②経営管理 ③世代交代 ④生活面のルール

締結することでどんなメリットがあるの?

- ① 家族経営が充実します。
 - ② みんなが経営に参画します。
 - ③ 後継者の自立をバックアップします。
 - ④ 女性農業者の能力を発揮します。
- ※ 認定農業者制度や農業者年金の補助など制度上のメリットもあります。



農業者年金受給者会

枕崎市農業者年金受給者会（会長 眞茅良一 会員103名）は、6月26日、JA南さつま枕崎支所において第39回総会を開催しました。



前田祝成市長をはじめ来賓の方々から挨拶をいただいた後、農業者年金功労者として鹿児島県農業者年金協議会から表彰をうけた5名の会員に、眞茅会長より感謝状が伝達されました。

議事に入り、令和元年度事業計画（案）などすべての議案が全会一致で承認されました。



続いて、市健康課の管理栄養士肝付夏帆氏に「高齢期の低栄養予防」について講演をしていただきました。講師からは、低栄養の予防のためには、一日3回バランスの良い食事（主食・主菜・副菜）を楽しくおいしくしっかりと食べることが大切だということ、また食欲増進のために口の運動をすることや、地域の活動に参加し、人との交流を大切にすることも重要だとの説明があり、会員の皆さんはクイズに答えたりして、深くうなずいていました。

最後に、農業者年金加入推進目標の達成に向けたスローガンの採択があり閉会となりました。

知って得する 農業者年金

農業者の方は、国民年金の上乗せの公的な年金「農業者年金」に加入して安心で豊かな老後を！

◎ 農業者なら誰でも入れる「終身年金」です

年間60日以上農業に従事し、国民年金第1号被保険者である60歳未満の方なら誰でも加入できます。
仮に80歳前に亡くなった場合でも、死亡一時金が遺族に支給されます。

◎ 一定の要件を満たす方には、月額最大1万円の保険料補助

認定農業者で青色申告している方やその方と家族経営協定を結んだ配偶者・後継者の方など一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助があります。

◎ 加入で大きな節税効果！保険料は全額社会保険料控除の対象

支払った保険料は、家族の分も含めて全額が社会保険料控除の対象となります。

詳しくは…

農業者年金基金

Q検索

<https://www.nounen.go.jp>



全国農業新聞は、週刊の農業総合専門誌です。農政解説・農業経営に関する情報や、くらし・生活に役立つ話題を農業者の視点からお届けします。

●発行日／月4回金曜日発行

●購読料／月額700円

☆お申込みは、お近くの農業委員・推進委員
または農業委員会事務局まで

(☎72-1111)

全国農業
新聞



全国農業新聞を
購読しませんか!

